

独立行政法人国立病院機構 信州上田医療センター



発行：令和2年7月 発行人：院長 藤森 実

信州上田医療センターの理念

私たちは目指します

- 1)互いに信頼し尊重しあえる関係
- 2)安全で質の高い医療
- 3)情報を共有して納得のできる医療
- 4)地域と連携して安心できる医療
- 5)医療の将来を見すえた健全な経営

【患者さんの権利】

- 1. 一人の人間として、その人格・価値観などを尊重される権利があります。
- 2. 良質かつ適切な医療を平等に受ける権利があります。
- 3. 病気・検査・治療・見直しなどについて、納得できるまで十分な説明を受ける権利があります。また、自分の診療記録の開示を求める権利があります。
- 4. 十分な説明と情報提供を受けたうえで、治療方法などを自らの意思で選択する権利があります。そのために担当医以外の医師を考え（セカンドオピニオン）を求める権利があります。
- 5. 医療の過程で医療者が知り得た個人情報を守られ、入院中も可能な限り私的な生活が乱されない権利があります。

施設認定

- 地域災害拠点病院(1997.1)
- エイズ治療拠点病院(1997.7)
- 地域周産期医療センター(2000.9)
- 地域医療支援病院(2002.11)
- 災害派遣医療チーム(2008.9)
- 第2種感染症指定医療機関(2009.11)
- 地域医療教育センター(2011.4)
- 臨床研修病院 基幹型(2012.4)
- 地域がん診療病院(2016.4)
- 地域医療人材拠点病院(2019.4)

## 臨床研究部長就任のご挨拶



臨床研究部長

高橋 濟

本年4月1日より臨床研究部長を拝命致しました。よろしくお願ひ申し上げます。当院には長年循環器内科医として仕事をさせて頂いており、出身は東京ですが上田に育てられている感をひしひしと感じております。信州大学医学部在職中には一般臨床以外に心臓移植における拒絶免疫など基礎研究にも関らせて頂き、上田に来てからも仕事の合間に心不全などの心疾患における臨床データの蓄積と解析を継続して、当地の心疾患の傾向について評価を行ったりしてきました。すでに当院では多くの医師や研修医が学会に参加して研究成果を発表したり、論文作成に挑んだりしておりますが、まだその数は決して多いわけではなく、全国の国立病院機構グループの中でも丁度真ん中くらいの位置にあります。こういった研究活動を増やすことは個

人、診療科、そして病院全体の質の改善に結びつくものであり、今後更にこれを推進すべく臨床研究部としてできるだけサポートを行っていかうと思ひます。

2015年4月に新体制として発足した当院の臨床研究部では、がん、脳疾患、循環器病、糖尿病など多分野において新たな治療薬や治療法の臨床応用のため、新薬の安全性や有効性を検証すべく企業ないし医師主導の臨床治験を実施しており、最近では全国的に見ても非常に多くの登録者数が得られた治験もいくつか見られるようになりましたが、まだ限られた分野での実施にとどまっております。現在、新型コロナウイルス感染のパンデミックによって治験や研究活動にも制限が加わらざるを得ない情勢にありますが、状況に応じて臨床治験についても実施数や分野を増やしていければと考えており、その際には患者様の安全と体調の管理を第一に考えた試験の遂行を心がけていく所存であります。今後も当院を受診された患者様には、新薬や新たな治療法に関する治験への参加を打診させていただく機会もあろうと思ひますが、その際にはご高配頂けましたら幸いに存じます。何卒よろしくお願ひ申し上げます。

特集

## 緩和ケア病棟開設のお知らせ④と 東3階病棟の再稼働のご報告

緩和ケア内科部長 村上真基

これまで3回にわたり、緩和ケア病棟のことをお伝えしてまいりました。いよいよ、今年の9月初めには当院の西6階病棟を改装して、24床の緩和ケア病棟を開設できる見通しとなりましたのでお知らせいたします。



スタッフステーション

おさらいをさせていただきますと、緩和ケア病棟は「がん患者さんの身体と心のつらさを和らげる」専門施設で、東信地区では初めてのものとなること、具体的な役割として、苦痛の治療、終末期の最期の療養、在宅療養生活が難しくなったときの受け入れ、などがあることをお伝えしてきました。また、患者さん・ご家族が家庭と同じような落ち着いた環境で過ごせるように工夫していることをお伝えしました。

今回は、緩和ケア病棟を開設することになった経緯を簡単に振り返ります。当院は、ここ数年の医師の充足により、ようやく上小地域の基幹病院としての機能を発揮して、がん診療や救急医療などを担うことがで

きるようになりました。おかげさまで入院患者さんは増え、今まで10年あまり病床数を減らして運営していましたが、休ませていた病棟を再開する必要が生じました。そこで地域の医療事情を検討した結果、これまで東信地区にはひとつも無かった緩和ケア病棟という形で病床を回復させていただくこととなりました。

緩和ケア病棟は、その機能の特殊性を考慮して景観の良い上層階に作りたいという想いにより、西6階病棟へ緩和ケア病棟を置くことが決まりました。そして、これまで休棟していた東3階病棟を全面的に補修し、当初の予定より2カ月遅れてしまいましたが、7月1日より50床の一般病棟として再稼働させていただき運びとなりました。東3階病棟へは西6階病棟の患者さんとスタッフが引っ越しをして、気持ちを新たに診療を行っております。また、皆さまがこの紙面をお読みになっている頃には、西6階病棟の改修を急ピッチで行っているはずですよ。

さて、一般的な緩和ケア病棟の役割はいくつかあることをお伝えしましたが、“信州上田医療センターの緩和ケア病棟”が持つ役割を、あらためて考えました。

当院の緩和ケア病棟は、東信地区で唯一の緩和ケア病棟となります。佐久には大きな医療センターがあるものの緩和ケア病棟はありません。私たちは上小地域の患者さんだけではなく、小諸・佐久・軽井沢で緩和ケアを必要としている患者さんもお迎えして、東信地区全体へ貢献したいと考えています。これまでは、「上



患者さんとスタッフの引っ越しを待っている東3階病棟



病室入り口

田の患者さんが佐久で治療を受ける」といった、私たちにとっては恥ずべきこともありました。これからは、「佐久や軽井沢の患者さんが上田で治療を受ける」時代が来ればよいと願っています。

そして、当院は上小地域の基幹病院・急性期病院として、地域住民の皆さまへお仕えする使命があることも忘れておりません。上小地域の患者さんのさまざまなご要望にお応えできる緩和ケア病棟であり、地域医療を支えてくださる医療従事者の皆さまにとっても気軽に足を運んでいただけるような緩和ケア病棟でありたいと考えています。

### 病棟配置図

西病棟		東病棟	
緩和ケア病棟	6階	一般病棟	
一般病棟	5階	一般病棟	
一般病棟	4階	高度治療室(HCU)	
一般病棟	3階	一般病棟	
	2階		
	1階		

7月から東3階に一般病棟が開棟し、9月から西6階は緩和ケア病棟となります

## 令和2年度 第6回上田地域がん市民公開講座 について

当院で毎年開催しております上田地域がん市民公開講座につきまして、令和2年度は以下により開催する予定です。是非ご参加いただきますようお願いいたします。

1. 開催予定日：令和2年10月3日（土）13：30～15：00
2. 開催場所：上田市文化センター（上田市文化会館大ホール）
3. 演題・講師（仮）
  - (1) 婦人科がんの検診と治療について（松村産科部長）
  - (2) 信州上田医療センターにおけるがん診療の取組み（藤森院長）